

デューダーマン **autocult**

FRM Jaray (チェコ共和国, 1935)

合理化

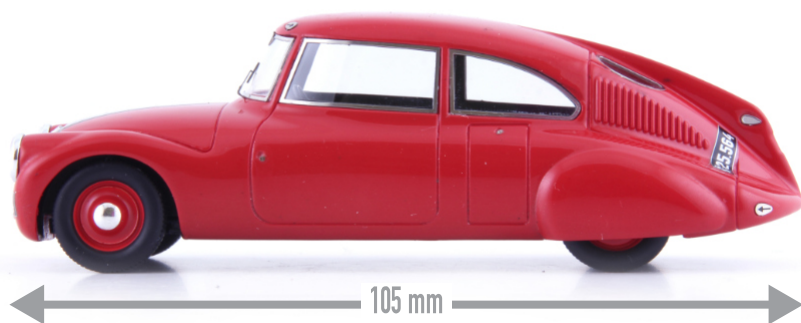
scale 1:43

#04035

release

06/2022

limited edition 333 pcs.



大きな計画が失敗に終わった時

1930年代前半にFRMを設立した立役者は、シュテファン・フィッシャーとオットー・ライマンであった。FRMは「Fischer Reimann Motoren」(フィッシャー・ライマン・モーター)の略である。

シュテファン・フィッシャーは、技術的な知識を会社にもたらした。彼は自動車設計を学んでいた。その研究とそれに関連した興味を通じて、ポール・ジャラーとの知遇を得ることになった。ポール・ジャラーはステファン・フィッシャーを有望な人材と見ていた。商人のオットー・ライマンも彼の可能性を認めていたが、会社設立のための資金調達という課題に直面していた。2人は、IGセリグ銀行を説得し、必要な資金を提供することができた。7人の社員がFRMに就職し、最初のプロトタイプ製の製作に専念することになった。

1935年には、テスト車両を走らせることができた。その年の終わりにはその成果に満足がいくものとなっていたので、1936年春には、ベルリンまでの長距離テスト走行が

可能になった。その最初の走行の旅で、シュテファン・フィッシャーはスイスのポール・ジャラーを尋ねた、おそらく、自動車空気力学の巨匠であり、シュテファン・フィッシャーの師でもあるポール・ジャラーのもとで、この車をデモンストレーションしたかったのだろう。

技術的な面で、生産開始を妨げるものはそれほどなかったのだが、当時の政治的な展開が徐々に大きな障壁となっていった。フィッシャーはユダヤ人であり、1938年、ついに祖国に背を向けイギリスへ逃れる決意をしたのだった。

AutoCult GmbH
Äußere Further Straße 3
90530 Wendelstein
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280
ファックス +49 / 9129 / 296 4281
info@autocult.de

www.autocult-models.de